

# 麻見江ホスピタルだより

第15号  
平成29年9月1日発行

麻見江ホスピタルは療養生活を快適に過ごして頂けるよう、ゆったりとした広く明るい病室で、行き届いた医療と常に思いやりと優しさを基本とした看護を心掛けた療養型病院です。

## 医療法人眞美会 麻見江ホスピタル理念

「健康こそ人生最高の宝」を基本とし、食を中核とした医療の提供、そして「ハートからハート」を基本に「真心の医療」を提供します。

## 基本方針

医療法人眞美会は基本方針に基づきご利用の皆さまに適切な、「医療」「保健」「福祉」サービスを提供します。

1. ご利用の皆様の権利を尊重します
2. 安心して暮らせる地域づくりの推進
3. ご利用の皆様の満足度の向上

## ★『馬場地域支援館 眞美セントラルキッチン』情報！！★

住み慣れた地域で健康で暮らせる様に支援する為、食と地域の人々が集う場の提供、健康づくり・地域生活支援事業、災害時に地域を支援する機能、食や健康などの調査・研究協力の機能を備えた「馬場地域支援館眞美セントラルキッチン」が平成29年度より開業しています。最先端調理システムを設備し、生産能力は5,000食/日が可能で徹底した衛生管理を行うとともに、管理栄養士を中心とした人材を配置しています。地産地消を基本に、旬の新鮮食材を用いた治療食や介護食などの多様な食へのニーズへ対応します。

ハートからハートへ 心と心をつなぐ よしお郷グループ

地域の皆さまの健康を、食を通じて支える

### 馬場地域支援館 眞美セントラルキッチン



敷地面積 2,886㎡  
建築面積 1,275㎡  
総床面積 6,336㎡  
生産能力 5,000食/日

よしお郷グループは、健康こそ人生最高の宝、「食」は健康の基となる考えに基づき、特色や傾向など7つの施設で医師・介護・予防・生活支援が一体となった事業を展開し、グループ内で地域包括ケアシステムを確立しております。

**食と地域の人々が集う場の提供**  
地産地消を基本として、旬の食材を使った食事の配達や、食事を摂りながら、地域の人々が集う場の提供もします。

**災害時に地域を支援する機能**  
いざという時のため、食料などの備蓄や支援に備え、大規模災害時に避難していただく場所としても想定しています。

### 住み慣れた地域で、健康で暮らせるようご支援します

馬場地域支援館 眞美セントラルキッチンは、最先端調理システムを設備し、徹底した衛生管理を行うとともに、管理栄養士を中心とした人材を配置しています。食事はバランスを考えた「食」を、まごころを込めて提供いたします。

**健康づくり・地域生活支援事業**  
訪問リハビリや訪問看護など、地域での健康な生活を支える地域生活支援事業の実施や、健康づくりを支援します。

**食や健康などの調査・研究協力**  
今までの健康増進への取組みの経験を活かし、行政機関の食や健康などの調査・研究事業等への協力なども行えます。

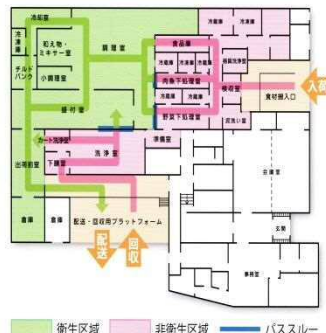
また、地産地消を基本に、旬の新鮮な食材で、治療食や介護食など多様な食のニーズへ対応します。市町村や介護施設からの依頼にも対応可能で、「食」と「健康」に関することは、何処でも相談ください。

馬場地域支援館 眞美セントラルキッチン 〒355-0355 埼玉県比叡郡比叡町馬場162番1 TEL.0493-66-0880 FAX.0493-66-0881



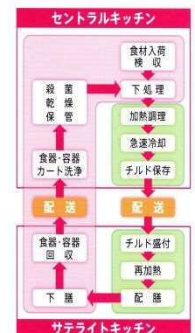
### 衛生管理と効率とを両立するレイアウト

衛生区域と非衛生区域は厳密に区分され、食材の流れは一方通行で進みます。非衛生区域内処理室からの食材は壁面のバスルーフで移動するため、衛生区域との間で人の出入りが発生しません。



### 最先端の新調理システム

「クックチル」配達の流れ  
食材入荷から配達まで、集中モニタリングシステムで、温度管理をしています。



## <各 部 署 員 紹 介>

本紙面を借りまして日々業務に勤しんでいる当院の各課より、業務内容や職員の紹介をさせて頂きたいと思っております。今回は栄養サポートチーム(歯科医師)よりご紹介いたします。

### <栄養サポートチーム 歯科医師 杉沢>

当院は全病床が主として長期にわたり療養を必要とする療養型病床となっており、入院患者様の平均年齢は 80 歳を超えております。入院患者様の半数以上が経管栄養や静脈栄養管理、摂食不良、運動不足等により低栄養状態や運動器の障害に陥っている状態です。栄養状態が悪ければどんな治療法も効果を上げることができません。治療成績を上げるためには適切な栄養管理が必要になります。

栄養サポートチーム(NST)は、医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、歯科衛生士の多職種で構成されており、各職種がそれぞれの専門知識と技術を活かし、食事内容や栄養手段、リハビリ、口腔管理など患者様に応じた最良の栄養プランを提案し、栄養面のサポートを行っていくチームです。

私は栄養サポートチームのメンバーとして毎週カンファレンス、回診に参加しておりますが、それ以外にも口腔ケアの知識に基づいた提案、摂食嚥下機能の評価と専門知識に基づいた提案、摂食嚥下機能に適合した食形態の提案、口腔機能のアセスメント、口腔機能改善方法の提案等を行っております。麻見江ホスピタル NST は発足から 5 年が経過しました。毎年、栄養療法に関する研修を実施し、全職員を対象とした知識の普及啓発活動を実施してきました。職員ひとりひとりが主体性を持ち物事に取り組む姿勢の構築の一助になるように、NST 活動を通じて寄与していきたいと考えています。

## ☆ 無 料 送 迎 実 施 中 ☆



当院では外来受診をされる患者様の無料送迎を行っております(要予約。送迎地域は鳩山町内と一部指定地域で、ご自宅から当院間の受診送迎利用限定です)。送迎する車は近年人気の「プチバン」タイプのクルマで、広々としたスライドドアは乗り降りもしやすく、ご高齢の方にも好評です。車内の居住性も広く快適にお過ごしいただけます。

ご利用に関してのお問合せは…

電話： 049-296-1155 総務担当まで

## 【 病 院 概 要 】

名称	：	医療法人真美会 麻見江ホスピタル
住所	：	〒350-302 埼玉県比企郡鳩山町大橋 1066
開設者	：	理事長 馬場 真美子
院長	：	今村 浩一
診療科目	：	内科・整形外科・リハビリテーション科・精神科・皮膚科・歯科
病床数	：	310床(療養型病床 310床)

## ☆ 編 集 後 記 ☆

近年各地の観光地で外国人観光客が多く、国際化の時代を実感します。先日、編集長が旅行した際にも中国からの観光客の方々が沢山いました。編集長が宿泊先のホテルのプールで娘と遊んでいると、一人の男の子が「一緒に遊ぼう」と英語で話しかけて来ました。その子は香港から来た7歳の子でした。編集長の娘がプールで水泳練習をしていたのを見て、英語と身振り手振りで娘に泳ぎを教えてくださいました。男の子も香港で水泳を教わったそうです。男の子は編集長親子に気さくに話しかけてくれていたのですが、編集長は7歳の子が話す英語も半分程度しか理解できず、頭の中で「これは英語では何というのだったか?」と焦りながら、何とかカタコト英語で話しました。娘はと言うと、通っている保育園には外国から来たお友達もいるので、外国語が話せなくても男の子とはためらい無く接していました。時折、行楽地で外国人観光客の方から『写真を撮って下さい。』と言った簡単な遣り取りはありますが、今回の様な経験は初めてでした。やはり英語による疎通の重要性を痛感しました。そんな編集長は娘と一緒に子供用英語教材のDVDを観ております。

-編集長-



馬場 真美子 著

「献立もう一品 ふるさとの野菜と野草料理」

ハートからハートへ

心と心をつなぐ医療サービス

医療法人真美会 麻見江ホスピタル

〒350-0302

埼玉県比企郡鳩山町大橋 1066

電話：049-296-1155 (代表)

FAX：049-296-1147